三島市障がいとくらしを支える協議会　運営会議

＊　日　　時 ： 令和5年10月23日（月）　15:30 ～ 17:00

＊　場　　所 ： 三島市役所 本館第2会議室

＊　出 席 者 ：

■ 久保 友明 会長	■ 伊藤 田恵子 副会長	■ 山田 龍宏 委員
■ 鈴木 弓子 委員	■ 橋本 聡子 委員	■ 遠藤 智也 委員
■ 大平 朋枝 委員	■ 澤 幸恵 委員	■ 名倉 むつみ 委員
□ 古谷 のりえ 委員		□ 笹本 絵里花 社会福祉士
■ 津田 崇宏 課長補佐	■ 青木 聡 精神保健福祉士	□ 高杉 麻紀 相談員
■ 塩川 健太 事務局員	■ 柳沢 亜樹子 事務局員	※■:出席者□:欠席者

＊　司会進行 ： 塩川 健太 事務局員

＊　記 録 者 ： 柳沢 亜樹子

1　開会あいさつ

久保会長より

「先ほど開催の“三島市障害者計画等策定検討会”から連続しての会議となります。今日はネットワークミーティングの形を決め、各チームの報告や進行中の“にも包括”“医ケア児支援”のこと等についても決めていかなければなりません。皆さんのご意見をいろいろいただく等して、協議していきたいと思いますのでよろしくお願いします。」

2　報告事項

(1)　基幹相談支援センターからの提案・課題

運営委員の変更

・　山下委員(社会福祉協議会)が 8 月末で退職され、同法人からの後任者として遠藤氏が選任され、今回の運営会議から参加されている。

3　議事

(1)　各チームおよびプロジェクト等の報告事項について

①　人材育成チーム: 8/10(木)・9/5(火)・10/13(金)開催　/　次回は 11/10(金)に開催予定

・　ネットワークミーティング分科会の開催を希望し、参集型の研修について企画検討を進めている。

・　9 月・10 月の会議では分科会に向け、“こんな支援は「あり」「なし」”をテーマにチームメンバーでディベートを実践・立案中。“正解のない支援の中で相対する意見から新たな気づきを見つける”研修を立案中。

②　発達障害児支援の連携検討チーム:

8/18(金)・10/20(金)開催　/　次回は 12/15(金)に開催予定

・　連携に関するアンケートを幼保・小中学校・福祉関係者に実施し集計まで終えた。率直な意見等が聴かれ、あらためて連携の必要性を感じた。今後は何を課題としてどのように進めていけば良いのか等を模索していく。その他、“連携のための名簿作成についても効果的ではないか”との意見があがっている。

・　昨年度は開催しなかったが今年度はネットワークミーティング分科会の開催を希望。

③　相談・サビ管連携チーム

- 7/12(水)のみしまるネットミーティングにて活動内容の報告を実施。
- 「課題集約・場の設定プロジェクト」と「相談・サビ管連携のためのチェックリスト活用プロジェクト」が連携(9/26(火)会議開催)し、相談支援専門員が集まる連携会議にサビ管が参加しチェックリスト活用についての勉強会を行っている。
- 「情報集約プロジェクト」(9/20(水)会議開催)では相談とサビ管が円滑に連携できるよう“つながりすと”ツール(事業所および職員紹介)を作成し、顔の見える関係作りを構築中。先ずは相談支援専門員のリストから開始し、次にサビ管のリストに取組む予定。
- ネットワークミーティング分科会の開催をどうするのかについては、本会議の結果をチームに持ち帰って検討することとなっている。

(2)　精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築にむけた協議の場の設置について

- “協議の場の設置”に向けて、アーチから山田委員・大平委員の 2 名と基幹相談支援センターメンバーで 9/6(水)と 9/27(水)の計 2 回の検討会を実施。主に現状と地域課題の共有をし、まずは“同じテーマを持つ人たちが顔の見える関係を作る場”が必要ではないかとの意見が挙げられた。そこから、アーチに精神分野に関するチームを設置し、関係者間の集まる機会の創出や課題改善に向けて取組むプロジェクトの運営等を担うことで、協議の場としてはどうかとの意見がまとめられた。そこで、本運営会議に新たに「精神分野に関するチーム」を設置することについて諮りたい。

  ⇒　協議の結果、チームの設置について全会一致で承認。有期となるか等の質問があったが「地域包括ケアシステム」としては圏域の自立支援協議会に地域移行部会がある等、チームとしては継続的に取組んでいく課題と推測。今後はチーム設置計画書を作成し、チームとして協議していくこととなった。

(2)　医療的ケア児支援のための協議の場の設置について

- 「発達障害児支援の連携検討チーム」にて協議したところ、12/5(火) に開催される「民間事業所連絡会議」で“医療ケア児のケース検討会”を実施し、実際の支援についての発表や医療的ケア児を受けることとなった場合にどうするか等のディスカッションを予定している。
- 協議の場としては「庁内連絡会」とする案も出ている。

(3)　災害対策ネットワークについて

- チーム設置に向け検討を進めたいものの、過去の関係者からの情報収集等が難航し進め方等に迷っている。

  ⇒本年度内のチーム設置を目指し、事務局を中心に運営委員の協力をもらいながらチーム設置に向けた検討等を行い次回運営会議で提案していくこととした。

(4)　ネットワークミーティングについて

- 活動報告の方法について検討したところ、“YouTube にした場合、段取りに時間がかかるため早めの準備が必要となるのでは”“分科会当日の前談として発表するのであれば、準備の手間が軽減されるのでは”“当日の発表を撮影して後日 YouTube として視聴する方法も良いのでは”との意見があがった。

⇒報告も参集型で行うこととし、詳細はプロジェクト(昨年同様、会長・副会長・各チームリーダー等から構成されたプロジェクト)を立ち上げて協議していく。どのチームが分科会に参加するか等については運営委員が各チームに持ち帰り、どの時間帯に分科会を開催したいか(10：00～12:00or13：00～15：00)、どのような方を対象としどれくらいの人数を想定しているのか等の検討をしてもらうこととした。

・ 日程については三島市社会福祉会館の空き状況と運営委員の都合を確認した結果、第1候補日 2/20(火)、第2候補日 2/27(火)とした。

⇒三島市社会福祉会館の最新の空き状況を確認し最終決定していく。

(5) その他

・ 「第7期三島市障害福祉計画・第3期三島市障害児福祉計画」について 1/22(月)運営会議前に協議予定についてアナウンスがあった。

4 閉会

伊藤副会長より

「長時間の会議、お疲れ様でした。決めていくことがいっぱいあって、差し迫っていることもあるかと思います。また皆さんで協力して進めていけると良いかと思いますので、よろしくお願いいたします。」

次回開催予定

日時: 令和6年1月22日（月） 15:30～17:00

場所: 三島市役所 西館2階会議室